

On Air

むさしのFM市民の会だより Vol.31 オン・エア 2021

市民が創る
むさしのFM78.2MHz
広報紙

私の とっておきの 武蔵野

*南町に住んでいた頃、
井の頭公園によく散歩に出掛けた。
一年中緑と水鳥に癒される憩い
の場所が隣にあり、地元を愛する
住民の交流も盛んな、こんな
地域が他にあるだろうか
的場 裕子
(三鷹市下連雀)

*幼少時、市内には、あちこちに
雑木林があって息抜きの場だったが、
今はもう、ほとんど見かけない。
代わりは玉川上水沿いだ。兩岸に
密生する木々が帯状の雑木林のようで、
ほっとさせられる。
清水 忠男(東町)

*千川上水沿いから近世の
短冊型地割の名残を残す道を抜けて
近代の面影を携える成蹊学園周辺地域へ。
自然と文化の調和が楽しめる
このルートを家族と一緒に散歩することが
私のお気に入りの時間です。
玄田 悠大(北町)

*境駅南口にまだ広大な
藪地が広がっていた頃、
天文台通り・富士見通りには
小さな商店がひしめいていました。
「もみじ山」や「草ボウ」で
よく遊びました。
三丁目、四丁目の夕日が
脳裏に焼き付いています。
小田 宏信(境南町)

*武蔵野人の力をあつめて！
武蔵野の街の原点は
「人の支えあいのコミュニティ」
コロナで落ち込むこの時代に
今こそわがまち武蔵野に活力を！
人の魅力が武蔵野の魅力
平住 周恵(杉並)

*祖母が生きていた頃
吉祥寺の話をしたら
「夜道は暗くてタヌキが
出るから気を付けて」と。
病が故か、彼女なりの
冗談だったのか...
今も帰り道何か出て来ないか
と気になります。
石坂 ユカ(本町)

目次

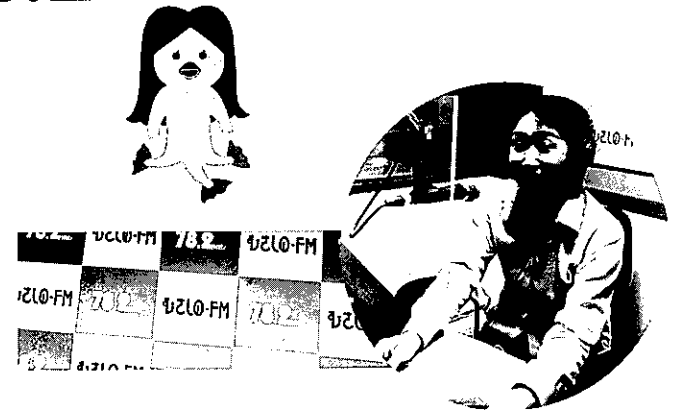
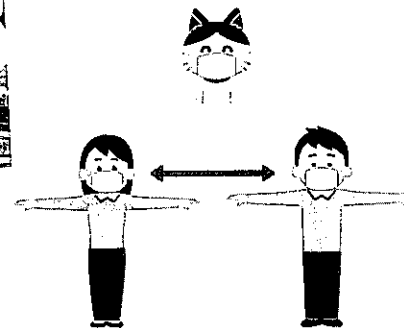
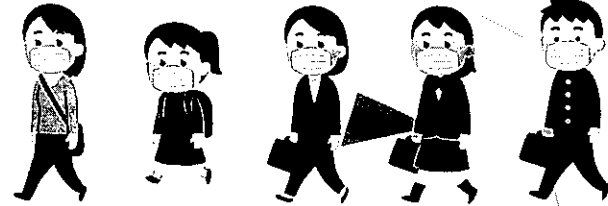
特集

コロナ禍で、
できたこと・楽しんだこと p. 2 ~ 3
~コロナ禍でも前向き! 出演者の皆さん!!~

「むさしのtoday」2020.4/1~2021.3/31..... p. 4 ~ 5
「発信!わがまち・武蔵野人」2020.4/3~2021.3/26... p. 6 ~ 7
「コロナ禍の1年・編集後記」..... p. 8

コロナ禍で、できたこと・楽しんだこと

降って湧いたような「新型コロナウイルス」に世界中が席捲され、不自由・不安な生活をしています。それに負けずに前向きに暮らす「むさしのtoday」「発信!わがまち・武蔵野人」出演の方々の“新たなチャレンジ”・“新しい楽しみ”!!



ウイズコロナで 桜まつりにチャレンジ

フリージャーナリスト 小林 昭一

これからはウイズコロナで行かないと何もできなくなる」私の話にそう答えたのは、多摩市の教育長でした。毎年年末に聖蹟桜ヶ丘駅前再エネ電気によるイルミネーションを点灯させてきましたが、その電気は小学6年生が水力、風力、太陽光などで発電したものです。運動会も修学旅行も中止となる中、今回は無理かなと思って相談に伺った時のことでした。

桜の木の下にたくさんの屋台が出て盛り上がる聖蹟桜ヶ丘の桜まつりは2年続けて中止となりました。祭りは集まるから「祭り」なのですが、集まらずに分散して桜の花を愛でながら市内の飲食店を回ってテイクアウトを楽しむ、そんな「桜まつり」もアリなのではないか。今年はウイズコロナでの桜まつりにチャレンジします。



ジョギングで 街の探索は楽しい

オーケストラ指揮者 曾我 大介

コロナ禍で時間が出来たおかげで、やっと自分の身体のメンテナンスに時間を割くことが出来ました。まず行ったことは基礎体力を上げることを目標に、ほぼ毎日ジョギングをすること。以前から行っていたジョギングではありますが、毎日少しずつルートを変え、方面を変え、街の探索も楽しみに加えながら走ることにしたのです。おかげで近所でも知らなかった場所を走ったり、すこし足を伸ばしては、車では絶対に走らないルートを走ってみたりして、新たなわがまち武蔵野市と周辺地域の魅力や驚きを発見しています。最近武蔵野市では史跡プレートも増えてきているので、新しいプレートをみつけて読むのも楽しみのうちの一つです。



チリンチリン三鷹スタート

チリンチリン三鷹主催 浜 絵里子

緊急事態宣言直後、「仕事ができなくなった」「お客さんがお店に来なくなった」「買い物に行きづらくなった」まわりの人達からの「困った」の声をたくさん聞いた。誰かが助けてくれるのを待つことがどうしてもできず、仲間たちと一緒に思いつく全員に声をかけて、みんなで頭をひねり、3週間ほどでチリンチリン三鷹を立ち上げた。

集荷場所を提供してくれたり、電話を受けてくれたり、色んな人に宣伝してくれたり、注文してくれたりチリンチリン三鷹を立ち上げてからたくさんの方が力を貸してくれた。「誰かを思う気持ち」が集まってできたチリンチリン三鷹。これからも地域に暮らすいろんな人とつながりながら育てていきたい。



愛猫「もふこ」 ツレと仲良しに

作家、看護師 宮子 あずさ

昨年4月以来、会社員のツレは基本在宅勤務となり、出勤は月に2〜3回程度。これまで通りに出勤している看護師の私とは、正反対の状況である。人と交わらぬ閉居が推奨される現状は、看護師として決して肯定できない。それでも敢えてよかった面を探すと、飼い猫がツレになつたことである。一昨年夏に18年ともに暮らした猫を見送り、新たに保護猫団体から4歳のメス猫をもらい受けた。名前は「もふこ」。とても臆病で、私にしかつかなかった。ところがツレと二人きりで過ごすうち、すっかり仲良しに。一緒にいることは、本当に大事なんだと改めて思った。



インテリアショップ 「fog」オープン

fog店長、空間デザイナー 玉田 聡子

昨年11月にオープンいたしましたインテリアショップのfogです。だいぶオープンが遅れた上に、コロナ禍でのオープンは不安もあり、また、不要不急の物事が度外視される中ではありましたが、初めから諦めにも似た、どことなくゆったりとした気持ちでオープンに迎えたのじゃないかと思っています。

通常であれば、「オープンして1週間でこれくらいの集客」とか「1ヶ月目はこれくらいの売り上げ」など、目標を掲げて精一杯の努力をする、しなければいけないという世の中の風潮から、一旦全てがストップした事で、正に全てが0からのスタートだったので、敢えて目標を高く持たずに、来てくださったお客様に、ただ感謝をする、そういった余裕があったのはコロナが与えてくれたゆとりの様な気がしています。



「コロナひとこと日記」 始めました

朗読奉仕の会会員 袴田 包子

普段やっている朗読のボランティア活動の、図書館で行うものができなくなりました。

時間を持て余し、去年の4月から「コロナひとこと日記」を始めました。日々の暮らしへの戸惑いや、ちょっとした感想など、今読むと一年前の事なのになつかしく思うこともあります。そんな中で、散歩と読書にも喜びを見つけました。とりあえず家にあった本を読み返し、記憶力の低下にびっくり!目が疲れたら普段は通ることのない道をジグザグに歩き、運動不足解消!きれいな花にも大いに元気づけられました。マスクをかけ始めて一年。知り合いかな?と 思って、お互いじっと目を見る。見極めがなかなか難しい!



コロナのおかげで 新しい発見いっぱい

俳優 渡辺 哲

昨年、緊急事態宣言が下され4月8日に撮影中止、京都から強制帰京させられた。撮影もなく何もしない日々。何とかせねばと思い、毎日少しずつ歩くことを決め事に。井の頭公園まで雨の日以外はぶらぶら。

そのうちに小学生以来、絵を描くようになり、仲間も増え、井の頭公園での滞在時間が生活の中心になった。

コロナのせいではなく、コロナのおかげで、新しい発見がたくさんあったのはラッキーでした。飽き性の私に、どんなことでも続けることの大切さをコロナが教えてくれた。その点はありがとうコロナかな。

でも、マスクなしの生活が1日も早く戻って来ることを願います。



南高梅10K梅干し見事に 熟成! コロナに効きそう

わが町のルーツを探る会代表 渡邊 卓治

なんと言ってもテレビを見る時間が増えたことです。コロナ対策による番組作りの制約が多岐に亘り深刻な影響を与えていることが痛いほど伝わってきました。反面、窮余の一策ともいえる過去の名番組の再放送を改めて鑑賞させてもらいました。

国会中継もよくききました。内外の情勢を知るよい機会ですね。それにしても政治・政治家は大事ですね。「哲学」が欲しい。

それから一転して、個人趣向の「梅干し」がホームステイのなか、熟成したことを披露します。南高梅10K、祖母直伝の作法を遵守し、見事な深紅に染め上げました。コロナに効きそうです。「染さない(うつさない)」社会的責任を果たし、かけがえのない「普通」を早く取り戻したいものです。

「むさしの today」

あなたの町の情報を市民が自宅から毎日発信 月～金(午前9:20～9:30)
2020年4/1～2021年3/31 (5941回～6201回)
再放送：当日 19:00～、1週間分 日曜日 17:00～

「東町3丁目のOKストア、オープンから2週間」星野高明(東)「原荘芥ギター教室 新居でスタート」小林一夫(北)「春の雑木林を彩る花たち」田中雅文(境)

「新型コロナウイルス騒動ですっかりにわかコロナウイルス評論家になりました？」鎌内啓子(北)「今年の入学式、そして懐かしい入学式の思出小川章子(桜)「武蔵境自動車教習所60周年」小林良太(境)「春一番、春野菜が順調に育ってます」新垣俊彦(西)「お父さんお帰りなさいパーティ」田中邦忠(南)

「鹿子木さんの事」近藤和義(中)「コロナウイルスで迷走」鬼頭麻佐(本)「国宝 迎賓館、赤坂離宮を見学して」竹内正子(北)「老人クラブ連合会活動中止」木川憲子(桜)「武蔵国分寺(尼寺)に行ってきました」岡野正隆(西)

「身の回りに起こったこと」中村茂美(南)「教科書に載っている詩(ポエム)」三井一夫(南)「家の周りの畑の様子」島津好江(関)「夜空を見上げてみましょう」川鍋和代(境南)「中道通りにツバメはもう来ない？」藤川千草(三・牟礼)

「季刊むさしの 春号から」小餅友子(南)「コロナに閉じ込められて」渡邊卓治(八)「原発事故による避難経験者が語る新型コロナウイルスについて」岡田めぐみ(緑)「新型コロナウイルス生活、日々思う事」吉田千恵子(東)「いきいきサロン “御殿山サロン”の出している号外について」今村明美(御)

「コロナSTAYHOMEの実情あれこれ」新垣俊彦(西)「境山野緑地にはこれまでにない程の沢山の親子連れ、ご夫婦の自然観察が集まっています」田中雅文(境)「エコアップ協議会について」金子恵一(中)「コロナで巣ごもり、家庭で出来る体操」新藤実徳(桜)「京都まみれについて」岡野正隆(西)

「朗読教室のテレワーク」金子あい(緑)「自粛の楽しみ方」田中邦忠(南)「コロナ お見舞い申し上げます」鎌内啓子(北)「2か月にわたる自粛による体の変化」木川憲子(桜)「私の健康法」竹内正子(北)

「19年振りに吉祥寺のヤマダ電機で冷蔵庫を買い換えました」星野高明(東)「コロナ対策、吉祥寺飲食店テイクアウト支援」小林一夫(北)「こんな時期なので手書きの手紙は如何？」川鍋和代(境南)「イベントがない時どんなことが出来ますか？」島森和子(北)「最近自宅で作っている事」藤川千草(三・牟礼)

「新型コロナウイルスに幽閉された」渡邊卓治(八)「新型コロナウイルスに思う、結核の時代」三井一夫(南)「新型コロナウイルスから学んだこと」吉田千恵子(東)「今、地域で出来ることを考える」鬼頭麻佐(本)「新型コロナウイルス対策の生活、あるある。これまでとこれから」小餅友子(南)

「家庭で出来る簡単な体操」新藤実徳(桜)「学

生時代の思い出話」近藤和義(中)「伐った、育った、地域の林」田中雅文(境)「カンツォーネについて」坂爪いちお(三・上連雀)「緊急事態全面解除～ WITH コロナ」鎌内啓子(北)

「幼少期の頃の吉祥寺」竹内正子(北)「東部日光へ日帰り鉄道旅」星野高明(東)「コロナ緊急事態宣言が解除された、これから…」木川憲子(桜)「料理の楽しみ方」田中邦忠(南)「私のスティホーム生活」岡野正隆(西)

「やっと学校が始まって」川鍋和代(境南)「コミセンの開館に向けて思う事」島森和子(北)「住み育った町、三鷹30年」小林一夫(北)「境駅前すきっぷ通りの最近の様子」山谷美和(境)「和菓子屋にみる季節感」藤川千草(三・牟礼)

「見守り隊活動復活」鬼頭麻佐(本)「むさしの today 6000回記念日にちなんで！」三井一夫(南)「むさしのFM市民の会だよりが発行されます」小餅友子(南)「スティホームの成果。ぬか漬け作りと梅干作り」渡邊卓治(八)「我が家の昆虫」島津好江(関)

「芸文協主催朗読の調べがあります(公会堂)」吉田千恵子(東)「高齢者の集まり再開について」今村明美(御)「コロナ巣ごもりから徐々に脱皮しています」鎌内啓子(北)「今年のお天気模様諸々」新垣俊彦(西)「コロナ自粛生活で見つけたもの」原利子(東)

「地域の子供たちのボランティア活動を支える大人」後藤真澄(境)「体操教室のコロナ前と後」平住周恵(本)「梅雨空とあじさい」田中雅文(境)「ちょっと歩いてみたら！」田中邦忠(南)「無観客プロ野球始まる」岡野正隆(西)

「コロナで厳戒下の武蔵野市自然の村、川上村に来てみました」星野高明(東)「コミセンを開館してみてる様子」島森和子(北)「8日、私の戦争体験の収録が行われました」島津好江(関)「歩こう会の8月・9月の予定」金子恵一(中)「老人クラブの活動が少しずつ始まっています」木川憲子(桜)

「夜空のイベント」川鍋和代(境南)「南町コミセンも6日から開館しました、開館後の様子」町田敏(南)「浅草橋探訪」三井一夫(南)「有酸素運動の重要性について」新藤実徳(桜)「住み慣れた町、吉祥寺北町40年」小林一夫(北)

「青少年協の活動徐々に始まっています」鬼頭麻佐(本)「スティホームとサークル活動」渡邊卓治(八)「傾聴の会定例会がありました」吉田千恵子(東)「“女帝 小池百合子”を読了して」鎌内啓子(北)「外国人のための医療情報」藤川千草(三・牟礼)

「救急車に乗ったことありますか？」竹内正子(北)「夏の生き物たち」田中雅文(境)「隅田川の橋」近藤和義(中)「夏季平和事業につい

て」小餅友子(南)「武蔵野市の老人クラブが始まって！」木川憲子(桜)

「自粛生活の庭」原利子(東)「運転免許取得のご案内～武蔵境自動車教習所から」小林良太(境)「ソプラノ小林沙羅さんのコンサート “日本の詩を歌う”に行きました」鎌内啓子(北)「8月の天体イベント」川鍋和代(境南)「遠藤周作の未発表小説」岡野正隆(西)

「それぞれの選択」三井一夫(南)「不登校について」岡田めぐみ(緑)「政府のバラマキ資金10万円の使い道、クールチョイス吉祥寺」星野高明(東)「境地域の子どものための取り組み」山谷美和(境)「小動物との暮らし」小林一夫(北)

★防災週間特集

「携帯トイレの備蓄について」市川ゆかり(南)「1小地区防災の現状」鬼頭麻佐(本)「避難所で出来る簡単体操」新藤実徳(桜)「5年前市民防災会発足とその運用」渡邊卓治(八)「気候変動と都市型水害について」内田道行(北)

「近所の清掃について」島津好江(関)「今日9月1日防災の日になんで」伊藤さつき(八)「藤村中学・高校の学生によるSNSの運用について」平住周恵(本)「いろいろな差別、今だからなくそう！」東海林未季(西)「子供たちに豊かな自然を」田中雅文(境)

「ちょっと歩いてみれば」田中邦忠(南)「早朝開放の子供たちの様子」川鍋和代(境南)「町の様子がすっかり変わってきた」原利子(東)「コロナ克服するには」新垣俊彦(西)「小金井公園を訪れて」木川憲子(桜)

「ウォーキングの10月予定をお知らせ」金子恵一(中)「夜は英国ミステリー」岡野正隆(西)「武蔵野市民社協の会費、募金などについて」小餅友子(南)「青少協第一地区の秋の予定について」鬼頭麻佐(本)「コロナの中でのコミセンでは！」島森和子(北)

「今、吉祥寺は食パンブーム」鎌内啓子(北)「すいかアイテム三昧の夏でした」小林一夫(北)「東京都のLED照明購入補助券を使ってシーリングランプを購入」星野高明(東)「コミセン再開と体温36度4分」渡邊卓治(八)「タンパク質の重要性について」新藤実徳(桜)

「回避の俳句」三井一夫(南)「台風と虫の音」竹内正子(北)「コロナ禍の中の台所で考えた事」今村明美(御)「温水プールでの水中歩きの楽しみ」小林一夫(北)「不登校のこと」岡田めぐみ(緑)

「たかが自転車されど…」星野高明(東)「ドンダリの秋」田中雅文(境)「AED講習会に行ってきた」川鍋和代(境南)「この状況下での在宅避難」木川憲子(桜)「そろそろコミセンが開始されました」原利子(東)

「お蚕のここと」島津好江(関)「私の好きな芭蕉の句」岡野正隆(西)「日本人が考えるエコバッグ」藤川千草(三・牟礼)「旧赤星鉄馬邸お庭公開」鬼頭麻佐(本)「“書”について(書を始めたきっかけ等)」風月(八)

「学生SNS活動報告」平住周恵(本)「自律神経の重要性について」新藤実徳(桜)「竹林と雑木林に囲まれた昭和初期の古民家が “Cafe 沖本” でリニューアルオープン」鎌内啓子(北)「防災食のアレンジ」後藤真澄(境)「ちょっと歩いてみれば」田中邦忠(南)

「八幡町地域について」伊藤さつき(八)「ある翻訳家について」三井一夫(南)「ブルームーンとマイクロムーンが同時に見られます」竹内正子(北)「旧赤星邸をめぐって」渡邊卓治(八)「ノルディックウォークとインターバル散歩について」近藤和義(中)

「大正琴発表会」矢野久子(中)「天候不順で自然の様子は」新垣俊彦(西)「1小地域ままもりクエストを開催しました」鬼頭麻佐(本)「老人クラブ連合会の「スポーツ大会の様子」木川憲子(桜)「12月の“闇の市”の話」島津好江(関)

「原荘介リサイタルでサポート演奏をします」小林一夫(北)「独歩の森ふれあい散歩」田中雅文(境)「秋を楽しみました」川鍋和代(境南)「12月の事業のご案内」金子恵一(中)「武蔵野市平和の日講演会『戦後75年・戦争体験をどう継承するか』」小餅友子(南)

「コロナの中の防災訓練」島森和子(北)「前進座秋季公演 “残り者”をみました」岡野正隆(西)「秋深まる東町界限だより」原利子(東)「武蔵野市ふるさと納税の返礼品としてNPO作品 “武蔵野ゆかりの音楽家” “唄って元気、あの歌、この歌”が選ばれました」庵原えい子(南)「ちょっと歩いてみれば」田中邦忠(南)

「三大栄養素に関して」新藤実徳(桜)「武蔵境駅前のイルミネーション」山谷美和(境)「ミニライブをやりました」平住周恵(本)「中島知久平と赤星鉄馬」渡邊卓治(八)「NPO法人プレイパークむさしの について」駒井雅子(境)

「ボクサー輪島功一さんの事」三井一夫(南)「居場所づくり」岡田めぐみ(緑)「J.COMの事知っていますか？吉祥寺サンロードにショップがオープン」星野高明(東)「むさしの母の会でオレオレ詐欺と対策について話し合いがありました」小川章子(桜)「避難所について」近藤和義(中)

「冬の自然を楽しもう！」田中雅文(境)「寒い時期の猫ちゃんの病氣・膀胱炎」大村知之(本)「学校だよりから」川鍋和代(境南)「コロ

ナ禍での地域団体の交流」鬼頭麻佐(本)「南町コミセンのニュース 12月号より」小餅友子(南)

「コロナ禍に振り回された1年でした」鎌内啓子(北)「60年前(1961年丑年)の武蔵野市」三井一夫(南)「この1年を振り返って」岡野正隆(西)「コミセンのコロナ対応あれこれ」原利子(東)「きりん塾Wサントでクリスマス」小林一夫(北)

「中央公園の移り変わり」渡邊卓治(八)「武蔵境自動車教習所の今」小林良太(境)「炭水化物と上手に付き合うには」新藤実徳(桜)「クリスマスと交響曲第九」竹内正子(北)「大師通りについて」島津好江(関)

「今年1年を振り返って」平住周恵(本)「今年の方支を迎えて」佐藤杏美(南)「今年の方支を迎えて」安藤智之(本)「今年の方支を迎えて」羽鳥光明(関)

「新春の独歩の森と玉川上水」田中雅文(境)「どんど焼き中止となりその後の様子は」島森和子(北)「近況報告を」金子恵一(中)「どんど焼き 第三小学校校庭」児玉言子(南)「放浪の俳人、尾崎放哉について」岡野正隆(西)

「新春朝風呂→今年は事情がちょっと変わった」星野高明(東)「2020年 初めての体験、まとめ」小林一夫(北)「寒いけれど空を見上げてみよう！」川鍋和代(境南)「コロナ第3波の中、武蔵野で新日フィルの演奏を聴きに」鎌内啓子(北)「来年度の地域の行事は？」鬼頭麻佐(本)

「“アンネの日記”について」三井一夫(南)「わんちゃんの咳について」大村知之(本)「コロナ第3波の影響で音楽会開催も一苦労」東海林未季(西)「中央福祉の会で行った街づくりアンケートについて」今村明美(御)「骨粗鬆症で歯医者に行く……？」原利子(東)

「二葉ファッションアカデミーで “男のエプロン作り教室” があります」平住周恵(本)「シャッターの閉まらない町づくりby八幡町」渡邊卓治(八)「筋トレの重要性」新藤実徳(桜)「今年の方支は2月2日です」竹内正子(北)「エコリゾートの運営について」新垣俊彦(西)

「“お父さんお帰りなさいパーティ”の案内」田中邦忠(南)「節分のあれこれ」小川章子(桜)「吉祥寺五日市街道の店並みを調べてみました」小林一夫(北)「吉祥寺まち案内所は土・日・祝のみ開いています」藤川千草(三・牟礼)「人権活動について」島森和子(北)

「責任の取れる自分でいたい」近藤和義(御)

「春の訪れ」田中雅文(境)「手を見てみましょう」川鍋和代(境南)「東町のちょっと早い春」原利子(東)「南町コミセンニュース2月号」小餅友子(南)

「このなか孤独の大観覧車を楽しみました」星野高明(東)「球春の訪れ(広島カープファンの楽しみ)」岡野正隆(西)「1964年東京オリンピックの頃……」三井一夫(南)「菱路みの季節」島津好江(関)「春の足音を探してウォーキング」鎌内啓子(北)

「“男のエプロン作り教室” がありました」平住周恵(本)「武蔵野老人クラブ文化祭について」木川憲子(境南)「八幡町コミセン40周年記念の展示について」渡邊卓治(八)「エコリゾートの活用について」新垣俊彦(西)「三鷹電車庫跨線橋(こせんきょう)の話」竹内正子(北)

「使ってますか？地域応援券AB→あなたわかる？A券B券の違い！」星野高明(東)「宮型の霊柩車 近頃見ませんね」原利子(東)「お難様にちなんで」小川章子(桜)「神代植物公園 萬壺塔 深大寺」小林一夫(北)「まちにあふれる変なカタカナ英語」藤川千草(三・牟礼)

「コロナ禍における緑地のお手入れ」田中雅文(境)「あって良かった コミセン(人と会ったり、話したりする場所が必要)」島森和子(北)「骨の話、先月に続いて」川鍋和代(境南)「松本清張 再読(外出が難しいので、本を読む機会が多くなりました)」岡野正隆(西)「私の防災対応アラカルト(東日本大震災から10年経過して)日頃の訓練と心構えについて」内田道行(北)

「ちょっと歩いてみれば」田中邦忠(南)「ノルディックウォーキングについて」金子恵一(中)「クジラのような大きな船の音楽会」鎌内啓子(北)「コロナ禍の老人クラブ運営は大変です。」木川憲子(境南)「地区委員会を初めてオンライン(zoom)でします」鬼頭麻佐(本)

「藤村物産の地域ボランティア活動」平住周恵(本)「4月開催予定の武蔵境マルシェについて」山谷美和(境)「タンパク質の種類について」新藤実徳(桜)「コロナでも元気」島津好江(関)「桜・ソメイヨシノについて」竹内正子(北)

「コロナの1年、泣き笑い」渡邊卓治(八)「1969年3月30日」三井一夫(南)「南町地域の話題」小餅友子(南)



* 出演予定者は、タウン情報紙「週刊きちじょうじ」の紙面およびホームページに掲載。

むさしFMでは、リスナーの皆様からの情報・メッセージをお待ちしています。FAX、e-mailでお寄せ下さい。
TEL 0422-23-0782 FAX 0422-22-9090 〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町1-10-7 武蔵野商工会館3階
http://www.musashino-fm.co.jp 最新トピック・情報交換掲示板 e-mail info@musashino-fm.co.jp

むさしのFM市民の会企画「発信! わがまち・武蔵野人」

コーディネイト番組

あなたのそばの武蔵野人が続々登場!(2020年4/3~2021年3/26 943回~993回)

この1年間はコロナ禍で出演者全員スタジオではなく電話でお話しして頂きました。
パーソナリティ伊東かおりさんの

ゲストに寄り添ったインタビューは毎回聴き応えがありました。

☆毎週金曜午後4:10~4:30(8/7~1/29午後3:30~3:50)生放送・土曜朝10:00~再放送

★インターネット同時配信!世界中で聴けます。

★放送後はHPポッドキャストでいつでもお楽しみ下さい。

◎2020年

- 4/3 辰野隆さん(本町) 歯科医院長、二葉栄養専門学校 男の料理実行委員
- 4/10 曾我大介さん(境南町) 指揮者、むさしの友好と平和の第九2020 はコロナ禍で残念ながら中止
- 4/17 鈴木直史さん(中町) 仲間たちと「HAPPY」ワンフレーズでつながる楽しい話が
- 4/24 青柳茂男さん(境南町) 56年前オリンピック聖火リレーランナー、東京オリンピックの思い出
- 5/1 安藤真洋さん(北町) 法人武蔵野理事長、世界が「ワンチーム」になる転換期
- 5/8 佐藤孝一さん(本町) 居酒屋「カヤシマ」店長、コロナ禍でテイクアウトも始めました
- 5/15 勝田清一さん(本町) パソコン教室主宰、プログラミングに高齢者も積極的に挑戦
- 5/22 藤川征輝さん(本町) monoギャラリーオーナー、11月閉店。のんびりと海外旅行をしたい
- 5/29 後藤明宏さん(北町) 福祉作業所の仕事は多岐にわたるが楽しい
- 6/5 成田湮(かいら)さん(南房総市) 俳優、南房総で念願の農業を始め、ソーラー発電のエネルギー使用
- 6/12 松元ヒロさん(西東京市) コメディアン、「憲法くん」を長年演じ続けている。コロナで家事も手伝う
- 6/19 澤地久枝さん(渋谷区) 作家、「昭和とわたし〜澤地久枝のこころ旅」上梓
- 6/26 田中邦忠さん(南町) お父さんお帰りがなさいパーティー実行委員長、定年後の地域活動
- 7/3 三井一夫さん(南町) 俳句の会主宰、旅について、南三陸語り部ツアー
- 7/10 小菅けい子さん(江戸川区) ジャズグループ「ブリーズ」リーダー-NHK朝ドラ「エール」歌唱指導
- 7/17 北村和夫さん(本町) 印鑑、はんこ、篆刻専門店青雲堂オーナー。息子が中国菜「雲蓉」始めた
- 7/24 金子あいさん(緑町) 俳優、YouTube「おうちで読もう百人一首」好評、「子午線の祀り」出演
- 7/31 大村知之さん(本町) 動物病院院長、コロナウイルスとペット
- 8/7 袴田包子(東町) 朗読奉仕の会会員、むさしのFM「おやすみラジオ」で朗読
- 8/14 渡辺愛子さん(本町) 俳優、ウイズコロナの時代の演劇、舞台、井の頭公園散歩



辰野隆さん(4/3)



曾我大介さん(4/10)



鈴木直史さん(4/17)



青柳茂男さん(4/24)



安藤真洋さん(5/1)



佐藤孝一さん(5/8)



勝田清一さん(5/15)



藤川征輝さん(5/22)



後藤明宏さん(5/29)



成田湮さん(6/5)



松元ヒロさん(6/12)



澤地久枝さん(6/19)



田中邦忠さん(6/26)



三井一夫さん(7/3)



「ブリーズ」リーダー小菅けい子さん(7/10)



北村和夫さん(7/17)



金子あいさん(7/24)



大村知之さん(7/31)



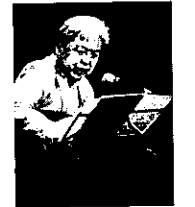
袴田包子さん(8/7)



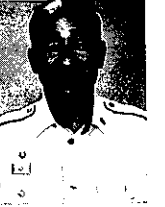
渡辺愛子さん(8/14)



石戸谷均さん(8/28)



椎名理さん(9/4)



大石芳野さん(9/11)



小林昭一さん(9/18)



石坂ユカさん(9/25)



渡辺愛子さん(8/14)



石戸谷均さん(8/28)



椎名理さん(9/4)



大石芳野さん(9/11)



小林昭一さん(9/18)



小おみ富子さん(11/27)



徳永健さん(12/4)



三浦豊さん(12/11)



風月さん(12/18)



中村愛佑美さん(12/25)



的場裕子さん(1/8)



玉田聡子さん(1/15)



小田宏伸さん(1/22)



稲村哲さん(1/29)



市橋絢子さん(2/5)



北村知久さん(2/12)



横山未来子さん(2/19)



小菅けい子さん(2/26)



山元全さん(3/5)



三上真木さん(3/12)



森新太郎さん(3/19)



早川由美子さん(3/26)

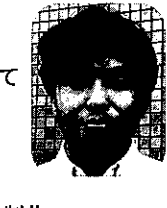
- 8/21 渡辺愛子さん(本町) ナミュールノートルダム修道院シスター、修道院の生活、旧赤星邸の魅力
- 8/28 石戸谷均さん(八王子市) ギターデュオ「にっちも&さっちも」でコロナ禍でもささやかに活動
- 9/4 椎名理さん(北町) 武蔵野消防署署長、新型コロナウイルス、熱中症対策について
- 9/11 大石芳野さん(御殿山) 写真家、カミュ「ペスト」を再読してコロナ禍を思う
- 9/18 小林昭一さん(多摩市) フリージャーナリスト、脱原発で再生エネルギーは世界の趨勢
- 9/25 石坂ユカさん(本町) カエルグッズ専門店Caveオーナー、カエル好き遠方からも来店
- 10/2 宮子あずささん(東町) 作家、看護師。東京新聞「ほんねのコラム」長年掲載中
- 10/9 浜絵里子さん(三鷹市) チリンチリン三鷹オーナー、生産者、飲食店、の新たな繋がり生まれる
- 10/16 清水忠男さん(東町) 千葉大名名誉教授、工学博士、共生環境デザイナー 仕事について
- 10/23 長岡大輔さん(大田区) 荘内銀行吉祥寺支店、酒田市役所吉祥寺テラス、市と友好都市
- 10/30 高橋勇さん(境) 境自動車教習所会長、「働く社員が誇りを感じる会社賞」受賞
- 11/6 新藤実徳さん(桜堤) フィットネスクラブオーナー、この時期健康を守る運動とは
- 11/13 浅沼剛さん(武蔵小金井市) 写真家、美術家、雅号「剛Q」、4 兎を追う生き方
- 11/20 玄田悠太さん(北町) 国際交流基金、東大大学院博士課程、旧赤星邸保存会会員
- 11/27 こおみ富子さん(三鷹市) 作詞、紙芝居製作、CD制作、それぞれの思い
- 12/4 徳永健さん(練馬区) クリエイティブディレクター、『吉祥寺かるた』プロデューサー
- 12/11 三浦豊さん(東村山市) ポンジュール・ボンマネージャー、生食パン「告白はママから」評判
- 12/18 風月さん(八幡町) 書家、現代ならではの書道のもう一つの楽しみ方 一水一
- 12/25 中村愛佑美さん(関前) フルート奏者、長谷部彩さん(国分寺) ピアニスト、デュオで活躍



新藤実徳さん(11/6)



浅沼剛さん(11/13)



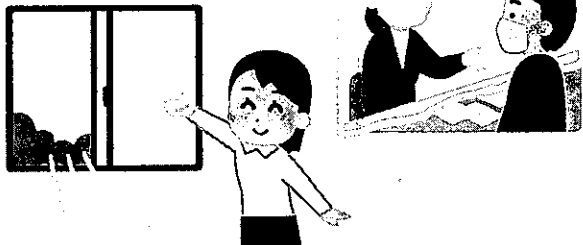
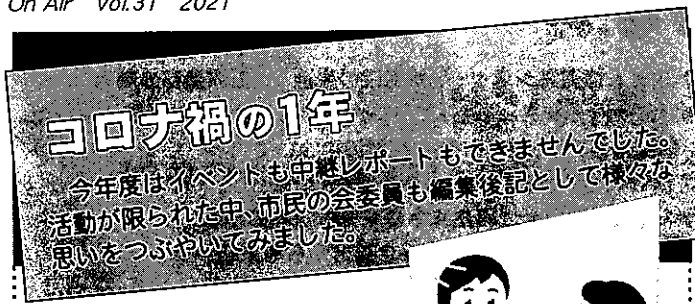
玄田悠太さん(11/20)

◎2021年

- 1/8 的場裕子さん(三鷹市) 南インド古楽器・ヴィーナ奏者、日本女子体育大学名誉教授
- 1/15 玉田聡子さん(北町) 空間デザイナー、雑貨店fog、五日市街道北町バス停に昨秋開店。
- 1/22 小田宏伸さん(境南町) 成蹊大学経済学部教授、成蹊学園、ユネスコスクール認定校に
- 1/29 稲村哲さん(練馬区) 出版プロデューサー 40年、本は電子書籍時代が良い本は売れる
- 2/5 市橋絢子さん(東町) 杉並区生活者ネットワーク、自宅リフォームで断熱工事
- 2/12 北村知久さん(北町) 10歳から日記を書き続けて82年、日記帳は93冊
- 2/19 横山未来子さん(本町) 大学職員、歌人、短歌誌「心の花」選者、NHK短歌講座講師
- 2/26 小菅けい子さん(江東区) ジャズグループ「ブリーズ」リーダー、朝ドラ「エール」振り返って
- 3/5 山元全さん(杉並区) 絵本をギターで弾き語り、保育園、幼稚園で大人気
- 3/12 三上真木(北町) ギャラリーアトリエ・ブランカ吉祥寺店、2月北町にオープン
- 3/19 森新太郎さん(国立市) NPO法人MEW・アートブリュット武蔵野実行委員長
- 3/26 早川由美子さん(町田市) ドキュメンタリー映画監督「日々新 日向新しき村」2020年3月制作

4月からの武蔵野人パーソナリティ 田中知子
 以前はNHKキャスターで、今は1歳児の育児に奮闘中。公園が多く子育てしやすいと実感。娘にも気軽に話しかけてくれて楽しいです。この温かい武蔵野市にパーソナリティとして関わられてとても嬉しいです。





コロナ禍が始まり、ギター演奏の機会が減少。その中、対策練ってギャラリー、レストラン、きりん塾で音楽会。マスク、フェイスシールド着けての演奏は初めて。いかに通常の演奏が楽かを実感。普通に感謝！

(小林 一夫)

コロナは人から人に移って死にまで至り、恐ろしいウィルス。マスクに毎日付き纏われ不安の日が続き外出禁止。まだまだ先が見えない。みんな初めての体験で不安が続き、人に移さない、移さなれないが第一。そんな中でもFM市民の会運営委員は、夫々ファッショナブルなマスクをして「お互い気をつけましょう」と挨拶。一日も早くコロナが消える事を願って止みません。

(島津 好江)

コロナに翻弄され、オリンピックの開催問題、経済破綻、危機的状況です。

昨年末ダメージの強い状況に遭遇。ショックで壊れそうになりました。その間、落ち込んだ時にも、ラジオは24時間つけっぱなし。聴き入っているわけではなくても、孤独感や悲しみ解消には、おおきな力になりました。今もつけっぱなし。停電になった時、非常用にもいいですね。コロナ禍で出来たことは運営委員として得た情報が役に立ったこと、できなかったことは、動けなかった時に、十分な情報を提供できなかったことでしょう。

(土田 萬里子)

この1年自分の生活にあまり大きな変化はなかった。仕事場やボランティア先が様変わりしてしまって、それに合わせて動くことが日常になった。過去13年間ドイツ、アメリカに滞在した経験から、溢れる情報を鵜呑みにせず暮らした1年だった。ワクチン接種の時期がくれば積極的に受けようと思う。否定的話だけが先行する副反応は決して他人には感染しないのですから。

(藤川 千草)

コロナとの付き合いはiPs細胞学者山中伸也さんがマラソンレースだと思えば緩急自在が肝要とHPで述べている。私もこの1年コロナに関する本やネットで勉強したが、得心したのが山中伸也DrのHPだった。「マスク、手洗い、三密を避ける」の基本を実施しながら、コンサート、観劇、講演会などにも積極的に出かけ、ストレスを減らして日常生活をしている。

(鎌内 啓子)

コロナ禍で学んだことは、環境を守ること、コミュニティの大事なこと!!

「むさしのtoday」は6000回を超え、「発信！がまち・武蔵野人」は1000回を迎えます。市民の会もコロナのお陰といえるような新たなチャレンジをしたいものです。コロナ禍でも、災害時でも、心休めたい時も、いつでも安心、頼れます。優しいラジオで繋がりましょう。

(小餅 友子)

私はむさしのFM市民の会に携わるようになってまだ2, 3年ですが、「むさしのtoday」「発信！わがまち・武蔵野人」出演者のコーディネートをしています。様々な分野の方々と接することができ知らなかった武蔵野についての見聞が広がりました。

(竹内 正子)



today毎月のコーディネート担当です。3月30日には6200回を迎えました。コロナ禍の中で毎日話題を提供して下さる皆さま方には感謝。レギュラーの方には月半ばころになると電話で出演依頼。また、推薦で初めて出演して下さる方も皆様快く受けて下さいます。今ではインターネットで世界中で聴くこともできます。これからも宜しくお願いします。

(中村 茂美)

1月に豪華客船から始まった武漢発の新種の肺炎。今やコロナの文字を目にしない日は無い。そんな中、私は昔英会話教師(カナダ人)が言っていた「Make it most」を実践。孤独のグルメ、一人サク飲み、単独オープンカーでの川上村行き。三つの密を避け、店に入る時はマスクします。誰かが言っていた、コロナよりマスク警察が怖い！ホンマや。

(星野 高明)

On Air オン・エア — むさしのFM市民の会だより —

代 表 : 小餅 友子

事 務 局 : 〒180-0003 武蔵野市吉祥寺南町 3-7-2 中村方 TEL/FAX 0422-44-4719

運営委員 : 鎌内 啓子 小林 一夫 島津 好江 竹内 正子 土田 萬里子 中村 茂美 藤川 千草 星野 高明

Vol.31(2021年4月発行)

編集・発行 : むさしのFM市民の会 運営委員会
題字・表紙デザイン : 故松岡 裕子さん